

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立第五商業高等学校

定時制課程

1 計画の概要

- (1) 定時制高校は、家庭の問題や不登校など子供たちの抱える課題は多様化しており、小・中学校での経験をはじめ子供たちの情報を高等学校と共有するなど、地域の学校と連携し問題を解決する必要がある。そのためにも、国立市立中学校などが互いの情報を交換し連携する場としての協議会に積極的に加わる。
- (2) 市教育委員会を通して、保育園や小学校などと連携し、訪問などを実施できる体制を整える。また、中学生が進路を考える上での一助として、定時制高校の授業内容などについて理解を求めるとともに、商業高校の授業内容などを体験してもらうため、国立市立国立第二中学校の3年生を対象に訪問授業を実施する。

2 実施内容

- (1) 平成20年11月20日（木）に、都立国立高校において開催された国立市内中・高生活指導関係連絡協議会に生徒健全育成の立場から出席をした。本校定時制においては、国立市内の中学校から数名ずつ入学をしてきており、中学校側からの情報は欠かせないものであった。中学校・高校の現状について情報を交換し、子供たち一人一人に合った生徒指導の現状について認識をえた。
- (2) 平成20年10月2日（木）に国立市教育委員会の協力を得ながら仕掛け絵本や遊び道具を作成し国立市内の保育所に寄贈した。寄贈の際、作成した生徒が園児に読み聞かせなどを実施し交流をした。また、本校教員により、平成21年3月6日（金）に国立市立国立第二中学校の3年生70名を対象として訪問授業を午後1時30分から50分間実施した。授業内容は、在り方生き方についてや、商業高校の定時制では何を学ぶのかを、本校の現状に触れながら中学生に優しく説明をした。



3 成果と課題等

【成果】

中学校と高校の連携の在り方について一定の方向性が見られた。市教育委員等と連携することにより解決の方法などが発見できる。

【課題】

- ・ 個人情報の保護などの観点から、生徒についての情報の扱いに注意することが課題である。
- ・ 中学校と高等学校がそれぞれ専門性を生かしながら、市の教育委員会と一層連携をしていくことが課題である。

